

使用料等見直しの検討事項のポイント

以下の項目について、これまでの検討内容等を踏まえた現状における市の考え方や方向性を説明しますので、意見等をお願いします。

1 原価の基本的な考え方

○料金決定の基本指標

原価は、市のサービス提供にかかる経費を示す基本指標とします。

○料金決定における考慮すべき事項

より適切な料金を算定するために、原価に負担割合を乗じた結果に加え、考慮すべき諸要因を反映します。

「料金」＝「原価×負担割合」×「その他の要因」

○使用料の原価算定の改良

貸出面積の大きさを基本にした算定をより適切なものとするため、面積に関係ない人件費部分を均等割に、面積に関連する光熱水費や清掃委託等の維持管理費を面積割に区分する算定方式に変更します。

2 負担割合の設定

○使用料における公費と受益者の負担割合の状況

民間でのサービス提供の度合等に基づき、公費と受益者の負担割合を提示します。

3 「ホール、会議室等、地域集会施設」の料金算定に向けた検討

○負担割合を乗じた原価と現行料金との乖離度の把握

○1㎡あたりの時間単価については同種別の施設ごとに平均単価を設定

○近隣各市及び民間施設との料金比較

4 減額・免除の適用

○使用料における減免制度の見直し状況

減免制度の廃止を基本に見直しを行った結果を提示します。